


池間小中学校に子ども達の 手づくり資料館オープン 1/31



発行者
NPO 法人いけま福
社支援センター
電話：75-2870



現在、池間小中学校では、学校に保管されている民具や漁具、祭祀に使う道具などについて調べ、展示する学習が進められています。来月31日に行われる「ユニムイ発表会」では、1年間の学習の成果として資料館をオープンし、地域の方々にお披露目しようと計画されています。ぜひ、子どもたちがつくった島の資



料館を覗にご参加ください。資料館づくりに向けて、今月1日には、漁業について調べ学習をしている5年生が島の漁師の先輩方を講師として学校に招待し、道具の呼び方(池間名)や使い方、材料などについて教えてもらいました。スウーニ(サバニ)ひとつとつても、部品ひとつひとつの呼び方や素材の違い、漁の方法や手入れの仕方など、実際にこれらの道具をつかってきた方々でないとい



からないお話を聞くことができました。そのほかにも、はかりや海底の様子を調査する際に使用していた道具、鯉節製造に使っていた道具など、島の先輩方の説明を聞いて、はじめて使

い方がわかるものもたくさんあったようです。また、22日には、3年生が祭祀につかう道具について調べるため、ツカサンマ経験者の先輩を講師として迎え、道具の呼び方や使い方などを学びました。



今後池間小中学校では資料館づくりに向けた学習が続きませんが、ご家庭にある昔の道具や民具を学校に寄付してくださる方、これらの名前や使い方などを子ども達に教えてくださる方がいらっしやいましたら、ぜひご協力くださいようお願いいたします。連絡先は池間小中学校(75-2013)。



シマ学校〜民具づくり〜



今月19日、シマ学校として島にある素材を使った民具づくりが行われました。講師には、与那国島で材料の育成から民具の制作までをこなす若手の民具職人である與那覇有羽さんを迎えました。島の高齢者から子



どもたち、平良からの参加者に加え、世界各国から来島中の大学生たちも参加し、総勢40名の参加者が集まりました。午前中は、島を歩いて使える素材を収穫。午後は、収穫したマーニ(クロツグ)やクバの葉、アダンの葉やイーヌブーに生える水草のヒメガマの葉などを使った民具づくりに挑戦しました。クバの葉やアダン葉で「カウス」を作ったり、クバの葉で「クバツ」をつくる技術を習うと、子どもたちも熱中して取り組んでいました。イーヌブーのヒメガマで作ったむしろは、手触りも良く



湿気にも強いいため、上等な製品として販売できる可能性も見えてきました。島にあるいろいろな素材をつかって、先人の知恵から学びながら生活の道具をつくる、という体験を、さまざまな世代の方たちが一緒にできた貴重なシマ学校でした。島の手仕事として残しながら、販売できるものを創りだしていけるよう工夫をしていきたいところです。

池間島すまめむめかしのカレンダー

2015年も残すところあとわずかとなりました。12月23日より、来年(2016年)の池間島カレンダーを島民価格で販売開始いたします。離島振興総合センターにて、1冊500円でお求めいただけます。



今月の予定

- 12月24日 第4回池間島歌謡ショー
- 1月2日 池間島新春ロードレース
- 1月13〜15 兵庫県立西宮南高校民泊
- 1月16〜17日 春季総合体育大会
- 1月19日〜21 兵庫県立上郡高校民泊
- 1月31日(日) ユニムイ発表会